



北海道旭川聾学校だより 4月号

希望の鐘

2025・4・26 発行 文責：門眞 義弘



「新年度を迎えて」

北海道旭川聾学校長 門眞 義弘

令和7年度は、各学部に幼稚部1名、小学部2名、中学部1名の新入生を迎え、全校幼児児童生徒は合計21名でのスタートとなりました。

本校では、次のように学校教育目標と学校経営方針を設定し、聴覚障がい教育に取り組んでまいります。

- 学校教育目標
一人一人が個性を生かし、心身ともに健康で心豊かな子ども
- 学校経営方針
 - ①特別支援教育の専門性を生かした指導(学習指導、生徒指導、生活指導)実践
 - ②「みんなのウェルビーイング」の実現
 - ③地域やろう・難聴がある方と共にある・作る学校
 - ④専門性を生かした他校・機関との連携・支援

今年度は昨年度の取組を継続しながらも、学校教育目標を「子ども」を主語にした教育のために見直しを図りました。コロナ禍で得たICTに関するスキルを活用し、授業場面や業務推進場面において、情報共有が容易になり、紙での連絡や資料が大幅に減りました。今年度はさらに、子どもたちの一人一台端末を効果的に活用し、より可能性を広げる教育や個別最適な学びの推進に取り組みます。そして、本校に在籍する子どもたちにとって、見通しをもち、分かる喜びが実感できる授業づくりを推進してまいります。

また、本校の教育活動を支えていただける「旭川聾学校サポーターズ」を推進すると共に、令和4年度に創立100周年を迎えた103年目の学校として、歴史と伝統を積み重ねてまいります。

今年度も保護者の皆様をはじめ、地域の小・中学校等や関係機関と一層の連携を図りながら教育活動を推進していきたいと考えておりますので、皆様の御理解と御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

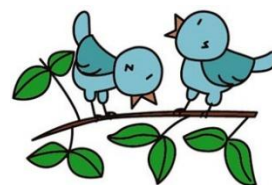


転入者挨拶

「転任の御挨拶」

校長 門眞 義弘（もんま よしひろ）

旭川聾学校は、教頭での勤務以来、8年ぶりの勤務になります。本校を選択し、学んでいるお子さんのために精一杯頑張ります。よろしくお願いします。私は、魚も好きですが、鳥も好きです。先日、朝会で旭川聾学校の木に「きつつき」が出迎えてくれた映像を子どもたちに見せました。校長室前には私の好きな青い「おおるり」がとまっています。是非、御覧ください。

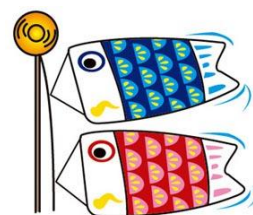


「復帰のお知らせ」

教頭 田中 康崇（たなか やすたか）

平成 31 年3月に旭川聾学校を引退し、釧路鶴野支援で3年間…室蘭聾で3年間…を経て、復帰しました。昔話「浦島太郎」のようですが、当時のままの学校の暖かい雰囲気懐かしさを感じています。

この暖かい本校の伝統を守るべく精進して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



「お世話になります」

専門支援員 杉浦 春菜（すぎうら はるな）

この度、専門支援員として勤務させていただくことになりました。3年前まで旭川聾学校でお世話になっていたのも、覚えていてくれた子どもたちが声をかけてくれたことがとても嬉しかったです。これからたくさんお話ししましょう。

子どもたちのために頑張りますので、よろしくお願いします。



「御挨拶」

環境整備員 鎌田 淳也（かまだ じゅんや）

この度、御縁がありまして旭川聾学校にて主に校内での裏方のお仕事がメインである環境整備員として働かせていただくこととなりました。

勤務してまだ数週間というもあり、皆様方にはいろいろと不慣れな点や特性等で御迷惑をおかけするとは思いますが、何卒よろしくお願いいたします。



今年度も学校便り「希望の鐘」は年3回の発行を予定しています。今までとは少しだけ形が変わりましたが、これまで同様、学校の様子などを保護者の皆様にお知らせしていきたいと考えています。学校ウェブページと新しく始まった note の発信と合わせて、旭川聾学校の様子を発信していきます。どうぞよろしくお願いいたします。